



金沢大学整形外科 専門研修プログラム



金沢大学 整形外科

誰もがアクセスしやすいユニバーサルな教室

〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1

金沢大学整形外科

出村諭 (担当: 松原秀憲)

<http://ortho.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

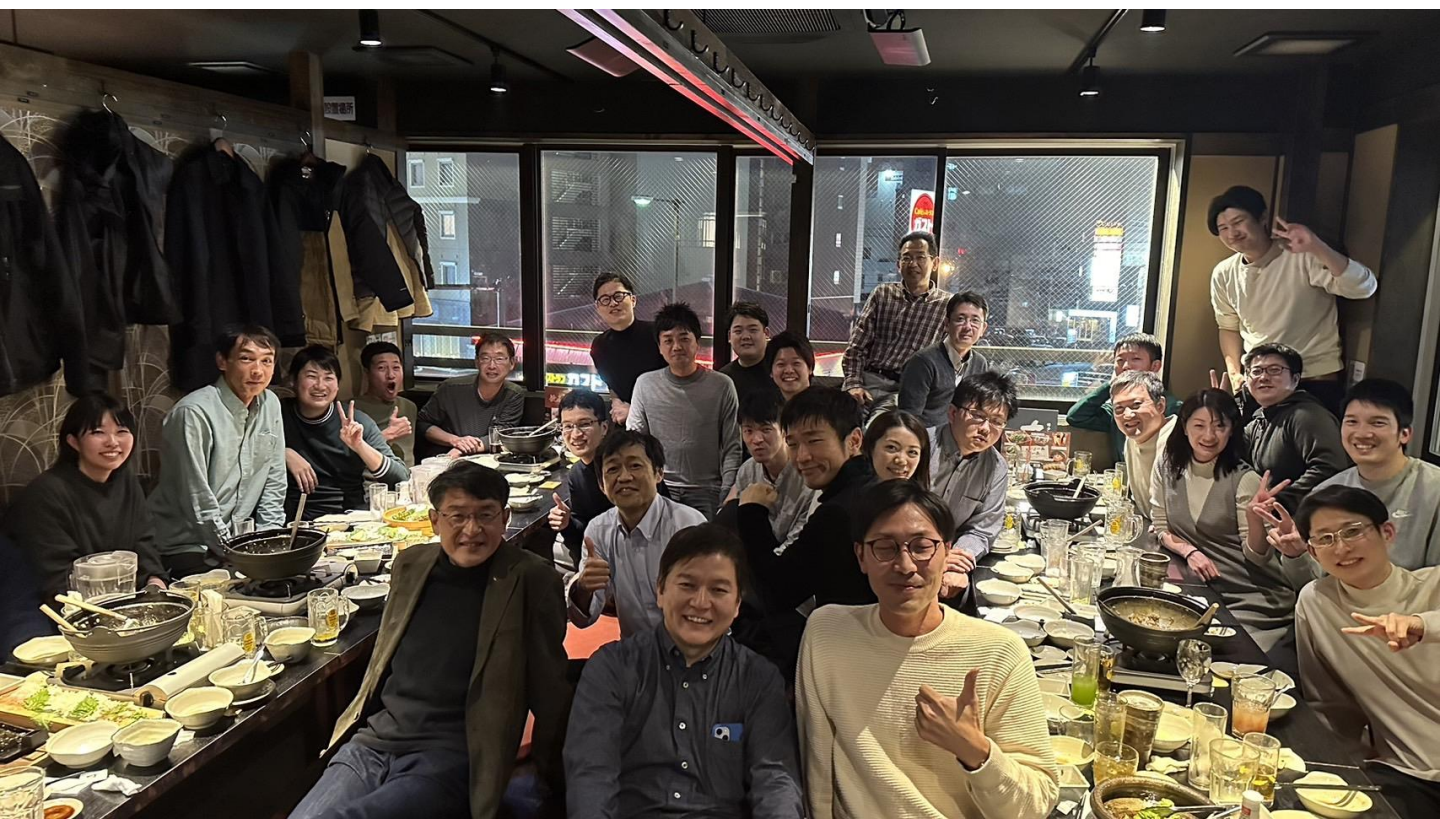
Tel: 076-265-2374

Fax: 076-234-4261

Email: seikei@med.kanazawa-u.ac.jp

目次

1. 金沢大学整形外科専門研修プログラムの目標
2. 金沢大学整形外科専門研修プログラムの特徴
3. 基本方針,研修目標, 研修方法
4. 研修スケジュール
5. 専門研修プログラムの施設概要・施設紹介
6. 先輩たちの感想・メッセージ
7. 募集人数と応募方法、病院見学の申し込みについて



1. 金沢大学整形外科 専門研修プログラムの目標

プロフェッショナリズムの醸成

医師は、公益性、道徳性、専門性が強く求められる専門職です。金沢大学整形外科では到達目標を「**医学医療は最先端を、教育に関しては未来の整形外科を担う卓越したプロフェッショナルとしての整形外科医師**」としています。金沢大学整形外科では、北陸地域の整形外科医療を支えてきたその経験と実績により洗練された研修内容を提供します。

1

コミュニケーター

患者医師関係を構築し、チーム医療の一員となる。

2

チームリーダー

信頼される医師となり、チーム医療を組織、管理し、指導する。

3

生涯学習

臨床から学ぶことを通して基礎医学・臨床医学の知識や技術を修得する。

4

社会的倫理

専門職としての責任、モラル、価値観を身に付ける。

5

指導者・教育者

後輩医師の指導や教育を通して知識の整理、指導力を身に付ける。

2. 金沢大学整形外科 専門研修プログラムの特徴

豊富な臨床経験

整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。超高齢化社会をむかえたわが国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。

現在、**金沢大学整形外科には、腫瘍・骨代謝、脊椎、四肢関節、スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、リハビリテーション**などの診療・研究グループがあります。連携施設は、それぞれに特色をもった約40におよぶ大学、施設、病院があり、機能的なローテーションにより、**プライマリケアから最先端の臨床・研究まで**を学ぶことができます。また国内出向も含め都市圏にも複数の関連病院を有しており、北陸の3県立病院を含む大病院から専門領域に特化した複数の病院まで様々な施設での研修が可能です。

整形外科医の病院内での貢献度は高く、大小かかわらず、どの施設でも整形外科医の需要は高い状態が続いています。このため将来的に整形外科のgeneralist, specialistとなる上で、北陸での主要病院での勤務を検討されている方には大きなアドバンテージとなります。

関連施設については随時Instagramで紹介しています。

金沢大学整形外科

インスタはじめました！



2. 金沢大学整形外科 専門研修プログラムの特徴

熱意に溢れ専門性豊かな指導医

整形外科は、**診断から治療まで一貫して行う**ことができるのも魅力の一つです。当教室では関連病院も含めて熱意に溢れた指導医のもと、**若手医師の時期から骨折外傷などの手術治療を積極的に行って頂く方針**で、その後専門性の高い手技を身に付けていきます。外傷の治療は整形外科医としての基本となりますが、この分野ひとつをとっても比較的簡単なものから難しいものまであり、非常に奥深いです。また専門性・難易度の高いものに関しても上級医のアドバイスを得ながら治療を進めていきます。実際の現場を体験するとわかりますが、交通事故等の救急外傷はかなりの部分を整形外科領域がカバーしています。それは同時に忙しいということを意味しますが、**若いうちに多くの経験を積む**ことが技術習得の近道となります。金沢大学整形外科での専門研修プログラム修了後には、整形外科generalistとして外来や救急でどんな患者さんが来ても怖くなくなります。

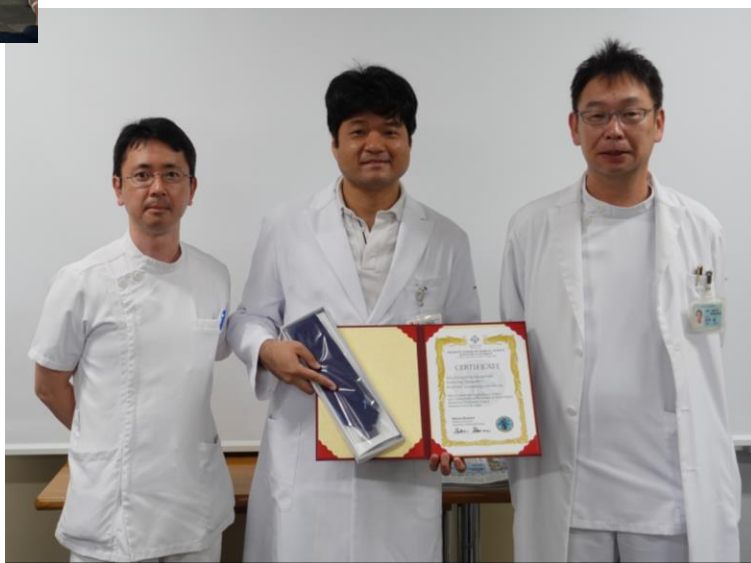


2. 金沢大学整形外科 専門研修プログラムの特徴

国際色豊かな **明るい教室**

金沢大学整形外科は、多くの革新的な治療を開発し、世界に発信してきました。そのために、**海外の医師たちとの交流**も盛んです。教室には、これらの治療を学ぶために多くの外国の医師たちが勉強に訪れます。また、**国際学会に参加**する機会も多く、外国の医師とディスカッションするのもごく普通のことになってきます。

さらに、**海外に留学する機会も豊富**にあります。それは、当科に対する評価が高いため、快く受け入れてくれる施設が多いためでもあります。



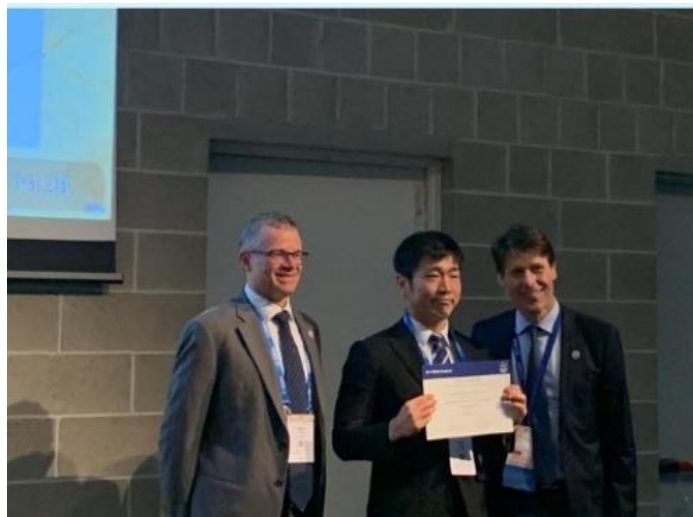
2. 金沢大学整形外科 専門研修プログラムの特徴

臨床研究・学会活動・論文発表

金沢大学整形外科は、出身大学や学閥、卒業年度に左右されず評価されます。この風通しの良い環境が、**日々の臨床での疑問点を気軽に相談**でき、新たな臨床研究の土台となっています。医学は日々進歩しています。症例報告やケースコントロールスタディといった臨床研究を通して、**研究テーマの立案、遂行、科学的なアプローチ、プレゼンテーションスキル**について教育します。

また、適切な文献引用や統計学的解析など論文作成の基礎、倫理的配慮、個人情報管理など、**研究に必要な基本的な能力**を培っていきます。この経験を若いうちから積み重ねることで、研究への扉が開け、新しい医学的発見や治療法の開発へと発展していきます。

金沢大学整形外科では、研究を通じて学ぶ、「**医学を科学的に捉え新しいアプローチを探索する**」ことが、臨床医としての資質にも大いにプラスになる要素だと考えています。



金沢骨軟部腫瘍セミナー



3.基本方針,研修目標, 研修方法

3.1 基本方針

専攻医および指導医マニュアルに関しては、
整形外科専門研修プログラム整備基準及び付属資料
(日本整形外科学会 ホームページ)
<http://www.joa.or.jp/jp/edu/index.html>を参照。

「整形外科専門研修プログラム整備基準」に沿って、金沢大学附属病院(基幹施設)および連携施設群において研修を行います。

整形外科では、初期研修を終了した3年目より、1か月を1単位として計45単位(3年9か月)の研修が必要となります。

3.2 経験目標

整形外科研修カリキュラムに沿って、経験すべき診察・検査、手術・処置などの経験を積み上げていきます。

手術については最低限160例以上の手術手技、うち術者として80例以上の経験が必要となります。また、地域研修病院に3か月以上勤務することが必須ともされています。

期間中に教育研修講演30単位受講、1回以上の学会発表と筆頭著者として1編以上論文発表をする必要もあります。これらについても手厚く、熱心に指導します。

3.基本方針,研修目標, 研修方法

3.3 専攻医の就業環境の整備

金沢大学整形外科では、専攻医に対するアンケート調査を行い、各施設の就業環境を調査します。就業環境に改善が必要であると判断した場合には、迅速に対応しますのでご安心ください。

3.4 整形外科研修の休止, 中断, プログラムの移動, プログラム外研修の条件

傷病、妊娠、出産、育児、その他やむを得ない理由がある場合の休止期間は合計 6か月間以内となります。限度を超えたときは、原則として少なくとも不足期間分を追加履修することとなります。疾病の場合は診断書の、妊娠・出産の場合はそれを証明するものの添付が必要です。留学、診療実績のない大学院の期間は研修期間に組み入れることはできません。また研修の休止期間が6か月を超えた場合には、専門医取得のための専門医試験受験が 1 年間遅れる場合もあります。専門研修プログラムの移動に際しては、移動前・後のプログラム統括責任者及び整形外科領域の研修委員会の同意が必要です。



4.研修スケジュール

北陸の中核病院として、最新の設備と豊富な症例を経験しながら、専門分野ごとの症例検討や抄読会などにより専門的な知識・技能を指導します。基幹病院のスケジュール、それぞれの施設の研修可能分野とローテーション表と専攻医毎の年次別単位取得計画と専門研修指導医一覧を下表に示します。

大まかには、月・水・金が手術日で、火・木が外来日になります。それぞれ週に1回専門外来があります。カンファレンスは全体のカンファレンスとそれぞれのグループのカンファレンスが開催されます。

金沢大学整形外科週間予定表 (例)

	月	火	水	木	金
朝	8:30 朝礼	8:30 朝礼	8:30 朝礼	8:30 朝礼	8:30 朝礼
	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前	手術	外来	手術	外来	手術
午後	手術	スポーツ外来	手術	腫瘍外来	手術
				手外科外来	脊椎外来
		足の外科外来	関節・リウマチ外来		回診
					カンファレンス

4. 研修スケジュール

専門研修プログラムの選択コース

	1年目		2年目		3年目		4年目	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
A	I 群: 高機能中核病院		II 群: 地域中核病院		1群 or II 群		大学病院	
B	II 群: 地域中核病院		I 群: 高機能中核病院		1群 or II 群		大学病院	
C	I 群: 高機能中核病院		II 群: 地域中核病院		大学病院			
D	II 群: 地域中核病院		I 群: 高機能中核病院		大学病院			
E	大学病院	I 群: 高機能中核病院	II 群: 地域中核病院		大学病院			
F	大学病院	II 群: 地域中核病院	I 群: 高機能中核病院		1群 or II 群			

- * 大学病院の帰学時期は希望研究室により時期が変わることがあります
- * 各コースに希望が集中した場合は、調整させていただくことがあります

基幹病院：金沢大学附属病院

学術的な研修やそれぞれのサブスペシャリティに特化した研修が可能になります。

I 群：高機能中核病院群（10施設）

比較的稀な症例、大きな手術を必要とする症例、合併症の多い症例の研修や年間1000件以上の整形外科手術を行っている施設での研修が可能になります。

< I 群に所属する各病院 >

石川県立中央病院、富山県立中央病院、福井県立病院、金沢医療センター、済生会金沢病院、富山市民病院、厚生連高岡病院、福井県済生会病院、市立砺波総合病院、福井総合病院

II 群：一般/地域中核病院群（29施設）

外傷および各研修施設に特色のある専門分野の研修が可能になります。

< II 群に所属する各病院 >

金沢市立病院、金沢赤十字病院、浅ノ川総合病院、JCHO金沢病院、公立松任石川中央病院、小松市民病院、やわたメディカルセンター、加賀市医療センター、芳珠記念病院、公立能登総合病院、恵寿総合病院、KKR北陸病院、木島病院、市立輪島病院、珠州市総合病院、公立羽咋病院、能美市立病院富山県済生会富山病院、厚生連滑川病院、射水市民病院、富山西総合病院、富山県済生会高岡病院、かみいち総合病院、公立南砺中央病院、市立敦賀病院、JCHO福井勝山総合病院、春江病院、横浜栄共済病院（都市部）、上越総合病院、舞鶴共済病院

III 群：小児整形研修病院群（3施設）

小児整形外科や専門分野に特化した研修が可能になります。

金沢こども医療福祉センター、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、福井こども療育センター

（本プログラムのローテーション、研修可能分野、取得単位の例は新患数、手術数の変動、指導医の異動等に伴い変更となる場合があります。）

4.研修スケジュール

専門研修プログラムのモデルコース

リサーチマインドの高いAさん

(当面の目標: 早く学位を取得して、海外留学も！)

1年目	初期臨床研修
2年目	初期臨床研修
祝！入局	(専門医プログラム 開始)
3年目	T県の大規模中核病院
4年目	I県の地域中核病院
5年目	大学病院(大学院:主に臨床)
6年目	大学病院(大学院:主に基礎研究)
祝！専門医取得	(専門医プログラム 終了)
7年目	
8年目	金沢市内か近傍の病院(大学院)
9年目	
10年目	海外留学

大学の部活で膝の靭帯を損傷し手術を受けて以来、整形外科の診療と再生医療の研究に興味があったAさん。初期研修は金沢大学の整形外科専門コースでした。迷うことなく金沢大学の整形外科専門研修プログラムを選択、3年目と4年目は北陸の大病院と中規模病院で外傷を中心とした一般整形を学びました。

プログラムの後半は大学病院での研修となり、同時に大学院に入学して臨床診療に従事しながら学位研究も行いました。専門医を取得した後、大学でさらに1年間基礎研究に従事し、その後金沢市内の病院に勤務しながら8年目に学位を取得しました。

9年目から2年間、念願の海外留学に行きました。家族とともにAnother Skyを楽しんでいます！

4. 研修スケジュール

専門研修プログラムのモデルコース

早く手術がうまくなりたいBさん

(当面の目標: 早く一人前になりたいが、いずれ学位も!)

1年目 初期臨床研修

2年目 初期臨床研修

祝! 入局 (専門医プログラム 開始)

3年目 T県の大規模中核病院

4年目 T県の地域中核病院

5年目 I県の大規模中核病院

6年目 大学病院(大学院: 主に臨床)

祝! 専門医取得 (専門医プログラム 終了)

7年目 大学病院(大学院: 主に基礎研究)

8年目

9年目 金沢市内か近傍の病院(大学院)

10年目 I県の大規模中核病院

外科系に興味はあるものの卒業時には具体的な進路は決めかねていたBさん。初期研修を行った地元の中核病院で整形外科の面白さを実感し、金沢大学の専門医プログラムを選択しました。3年目から5年目は地域の病院で数多くの手術を執刀し、5年目にはほとんどの外傷手術を任されるようになりました。6年目は大学で最新の治療やリサーチマインドを学びました。

専門医を取得後、プログラム期間で興味を持った関節外科を極めたくなったBさんは大学院に入学しました。大学病院で2年間、近くの関連病院で1年間、臨床診療の傍ら基礎研究に従事し、9年目に学位を取得しました。

学位取得後は、関連の大病院で関節外科専門医として診療に奮闘しながら、学会活動も続けています。

4.研修スケジュール

専門研修プログラムのモデルコース

大学院での研究よりも地域貢献したいCさん

(当面の目標: 地元の病院で勤務し、いずれ開業!)

1年目	初期臨床研修
2年目	初期臨床研修
祝! 入局	(専門医プログラム 開始)
3年目	大学病院(臨床) I県の小児施設
4年目	I県の大規模中核病院
5年目	I県の地域中核病院
6年目	F県の地域中核病院
祝! 専門医取得	(専門医プログラム 終了)
7年目	
8年目	
9年目	F県の大規模中核病院
10年目	

地元大好きのCさん。大学は県外に出ましたが、初期研修は地元の中核病院で勤務しました。将来的には地元で開業も考えており、地元の関連病院を多く有する金沢大学の専門医プログラムを選択しました。

大学院進学には興味がないことや地元志向をプログラム責任者に伝えると、希望に則したプログラムを用意してくれました。3年目の前半は大学病院で研修し、その後の3年半は地元も含めた中核病院で研修して見事専門医を取得しました。半年間の大学病院での研修では、臨床に必須なリサーチマインドと多くの信頼できる仲間や先輩を得ることができ、とても有意義な期間でした。

専門医取得後も地元の関連病院で診療を続けています。地域の患者さんに信頼され愛される整形外科医を目指して、日々頑張っています!

5. 専門研修施設概要・施設紹介

随時Instagramで紹介しています

I 群：高機能中核病院

富山県立中央病院

当院は733床を持つ総合病院です。整形外科の常時治療にあたる医師は8人で、それ以外に研修医などが協力し治療を行っています。部位別に、関節、四肢（手、足を含む）、脊椎など、それぞれの分野の専門医が良質な医療を提供すべく取り組んでいます。また、富山県の3次救急を担う当院では、2015年にドクターヘリが導入されたこともあり、日中、夜間を問わず多くの重度外傷患者が搬送されます。そのためあらゆる外傷の経験を積むことができると考えます。

対象疾患は加齢による変性疾患、骨折に代表される外傷、スポーツ障害等広い分野に及びます。そのため、当院の研修を通じて幅広い知識を得ることができ、外来や救急での処置から手術に至るまでレベルに応じた手技を習得できると考えています。

福井県立病院

福井県立病院は福井市の中心部にあり、病床数961床（精神病床279床を含む）をもつ地域の中核病院です。福井県内唯一の三次救命救急センターを備えており、北米型ER方式を採用しているため、多発外傷は勿論、多くの外傷患者さんが24時間体制で搬送、受診されます。整形外科医は7名（うち専門医5名）在籍しており、外傷以外にも各領域に専門性の高い医師がいますので、多くの症例を経験することが出来ます。

国立病院機構 金沢医療センター



当院は、病床554床の金沢市の中核病院であり、整形外科常勤は5名で年間700例近い手術を行っています。救急搬送患者受け入れは金沢市内で最も多く、一通りの外傷疾患は経験することができます。手外科専門医、脊椎脊髄専門医が勤務しており、手外科、内視鏡を用いた

脊椎外科を始め、人工関節なども積極的に行っており、幅広い研修が可能となっています。また、金沢大学病院は徒歩圏内であり、市中病院とのカンファレンスも当院で毎月行っており、他病院との連携もスムーズに行うことができます。さらに、北陸随一の繁華街である片町、香林坊も近く、仕事だけでなくアフター5も充実した研修生活が楽しめます。

5. 専門研修施設概要・施設紹介

随時Instagramで紹介しています

I 群：高機能中核病院

富山市立富山市民病院

当院は富山市の中核病院の1つで地域医療の中心を担っております。当科では特に外傷、関節疾患の治療に力を入れており、年間手術件数は約850件です。主な手術は外傷を中心に、人工関節（THA、TKA）、膝周囲骨切り術(高位脛骨骨切り術、大腿骨遠位骨切り術)があります。

そして、当科では全国に先駆け、多職種によるチーム医療を導入し、受傷から24時間以内の安全な手術を目指して、病院全体で高齢者の骨折治療に取り組んでいます。また、当院では学会活動、教育にも力を入れており、外傷疾患、股関節疾患、膝周囲骨切り術、高齢者骨折の治療を高いレベルで学ぶことができます。

厚生連高岡病院

7名の整形外科医（うち1名はリハビリ専従）によって年間約850件の手術を行っており、その割合は、外傷 50%、脊椎 20%、人工関節（TKA & THA） 10%、肩 10%、その他 10%です。アピールポイントは3点あります。第1に、富山県西部唯一の3次救急病院であるため、数多くの外傷を経験でき手厚い指導の元での執刀機会が豊富なこと、第2に、人工関節センターを擁し、膝・肩・足・股関節それぞれに専門医がいること。第3に、脊椎に関して、診断学・手術道具・解剖に関する基礎的指導にはじまり、体位の取り方、除圧術、固定術と段階を踏んだ精緻な指導を享受できることです。当科で脊椎外科研修を終了した15名が、脊椎外科専門医として活躍しております。自らの手術技術をぐっと前に進めたい、そう思っている先生方にぴったりの研修施設です。多数の応募をお待ちしております。

5. 専門研修施設概要・施設紹介

随時Instagramで紹介しています

I 群：高機能中核病院

福井県済生会病院

当院は病床数460床、診療科22科、職員数は約1,300名の急性期基幹病院です。「患者さんの立場で考える」を理念に掲げ、「済生の心」を実践する病院として質の高い医療・福祉を提供できるよう努めています。具体的には、チーム医療の推進、患者さんの立場で考えた新しいサービスによる理念の可視化、病院の質の継続的改善のシステムである済生会クオリティマネジメントシステム（SQM）の導入など、医療の質の向上に力を入れております。また職員の満足度の向上のため福利厚生にも力を入れております。3年に1回の海外旅行も企画されております。整形外科は専門医6名（うちリハビリ専従1名）、後期研修医1名の7名で、脊椎外科、関節外科、マイクロ・手外科、骨軟部腫瘍と専門性に特化した診療を推進しております。そして、救急センターの3名の専従医と連携を取りながら外傷にも力を入れております。

市立砺波総合病院



当院は、富山県西部の砺波医療圏にある病床514床の中核病院です。365日24時間体制で受け入れる救急の外傷・骨折症例の救急外来受診時からリハビリテーションまでの全ての経過を経験し、外傷、慢性疾患など幅広い疾患を経験することができます。変形性膝関節症・変形性股関節症に対する人工関節置換術、関節リウマチに対する生物学的製剤の治療、脊椎外科疾患に対する内視鏡・顕微鏡手術、また出来る限り侵襲をおさえた脊椎固定術、スポーツ整形、骨粗鬆症など多くの疾患の指導が受けられます。

砺波市は広大な砺波平野と豊かな自然に囲まれ、人と人が支えあいながら生きる温かい風土でチューリップが有名です。

5. 専門研修施設概要・施設紹介 随時Instagramで紹介しています

I 群：高機能中核病院

福井総合病院/福井総合クリニック



当院は、福井市の北東部に位置する、病床数315床の中核病院であり、全国的にも稀な病棟と外来が分離した形式をとっています。うち、整形外科の病床数は130床を優に超え、9名の整形外科医で、年間1200件を超える手術を行っております。外傷をはじめ、脊椎、人工関節（肩・股・膝）、内視鏡手術（肩・肘・股・膝・足）、リウマチ外科、スポーツ整形外科など、あらゆる分野で専門医による指導を受けることができます。患者数はとても多いですが、コメディカルが非常に協力的なおかげで、医師本来の仕事に集中することができます。また、国内外の学会参加・発表に対しても、積極的に支援する体制が整っています。

5. 専門研修施設概要・施設紹介 随時Instagramで紹介しています

Ⅱ群：地域中核病院

浅ノ川総合病院



病院が金沢市の北部に位置することより、金沢北部及び河北地区の中核病院となるべく、周辺開業医と連携をとりながら、整形外科専門医3名で整形外科疾患全般にわたって偏ることなく治療にあたっている。患者さんの性別、年齢、家族、職業、社会的背景を考慮に入れて、十分なインフォームド・コンセントののちに手術治療を行っている。高齢者にみられる骨粗鬆症関連骨折においてもADLの早期回復を目指し、積極的に手術治療にあたっている。

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）金沢病院

当院は昭和22年金沢市大樋町に設立された社会保険鳴和総合病院がルーツとなっており、平成11年金沢社会保険病院と名称を変更し、平成26年から経営母体の変更に伴いJCHO金沢病院となりました。16診療科248床の急性期病院に加え、健康管理センター部門、老人保健施設、居宅支援センター、訪問看護ステーションを有し、最新医療から介護・福祉まで切れ目のない地域医療が行える体制が構築されています。

整形外科は、2人の常勤医で、高齢者の変性疾患および外傷治療を中心に診療を行っています。たんぼの真ん中の病院で夜間休日の急患は少ないですが、金沢駅に近く充実した研修生活を過ごすことができると思います。

特定医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター

当院は、一般急性期7対1入院基本料、回復期リハビリテーション病棟を有しており、各学会の研修施設の認定を受けています。全診療科が協力して、急性期から回復期、在宅医療まで、地域の医療機関と連携し、多職種が協働して総合的な地域医療サービスの充実に取り組んでいます。特に予防医学を積極的に推し進め、一般的な治療のみならず、クリニックや健康増進施設と連携し、退院後の行動変容までを治療範囲ととらえています。

整形外科は、常勤医7名の体制で、内視鏡を用いたスポーツ外傷や脊椎外科、人工関節置換や骨切り術などの関節外科を中心に、年間1200件の手術を行っています。リハビリテーション科（常勤医3名）と連携した一貫した治療を充実した体制の下で行っています。

5. 専門研修施設概要・施設紹介

随時Instagramで紹介しています

Ⅱ群：地域中核病院

芳珠記念病院



当院は金沢市から車で30分程度のところに位置する許可病床数320床のケアミックス型病院です。1983年の開設以来、地域医療を支える総合病院として、高度急性期から回復期のリハビリまで、多職種が協働して診療にあたっています。整形外科医の常勤は2名で、外傷から関節・脊椎を主に扱い、脊椎内視鏡手術（MED, MEL, CMEL）に積極的に取り組んでいます。夜間休日の急患は少なく、研修医のQOLはいい病院です。

恵寿総合病院

金沢大学医学部附属病院の連携病院として臨床研修医を受け入れる体勢をとっています。高齢者の外傷、変性疾患の症例が多いのですが、手術療法、保存療法のどちらにも対応しています。専門医・指導医が3名おり、専門範囲が異なりますので、それぞれの分野で専門性の高い医療を行っています。地域の拠点病院での臨床研修が可能です。地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟もあり、受傷から在宅復帰までの全てのプロセスの研修が可能です。

七尾は港町ですので、特にお寿司がリーズナブルでお勧めです。

KKR北陸病院

運動器疾患は、「不適切な動作を基板として発症する」というコンセプトのもと、局所の治療のみならず、身体全体の動作評価や修正プログラムを施行し、近隣の高齢者からプロ選手まで必要なケアを行っています。基本は保存治療ですが、必要な場合は肩、肘、膝、足・足関節を中心に、鏡視下、直視下手術を適切に選択して治療を行い、よりよい生活復帰、スポーツ復帰をめざし、最後まで面倒をみるのが当院の特徴です。

5. 専門研修施設概要・施設紹介 随時Instagramで紹介しています

Ⅱ群：地域中核病院

富山県済生会富山病院

常勤4人で平日の午前3人が外来に出て、1人が手術か病棟回診、午後は4人で手術を行っています。250床の割には年間650件と手術は多く、脊椎手術200件(内視鏡が多い)、人工関節100件以上(膝が多い)がメインですが、富山医療圏の2次救急輪番病院のため、骨折など外傷も含めて比較的バランスよく色々な症例が経験できます。輪番日でない日は救急患者は来ないため、オンとオフがはっきりしていて、研修医のQOLはいい病院と思います。

富山県厚生連滑川病院

当院が立地する滑川市は、富山県の東部新川地区に位置し、春はホタルイカ漁、また雄大な立山の景観が臨める自然豊かな町です。公的病院では数少ない整形外科医が院長を務める病院であり、常勤医総数25名のうち5名を占める整形外科医は全員が専門医です。地域に根差した中規模病院で、医師だけでなくスタッフとの連携も非常にとりやすい環境です。1例1例を大切に扱うことをモットーに、最も得意分野とする外傷の他、脊椎外科、四肢関節外科、手の外科、関節リウマチなどの治療、また学会活動も積極的に行っています。

射水市民病院



平成29年3月に新診療棟（外来部門）が改修され、新しくなりました。病院内の常勤医は18人と少ないのですが、医師、ナース、コメディカルの協力体制はしっかりできていて、仕事しやすいと思います。

整形外科の診療は外傷が75%で、残りが変性疾患です。数は多くありませんが、脊椎疾患、関節疾患にも対応し、地域医療に貢献しています。

富山西総合病院

富山市南部にある中規模病院です。医師総数30名、整形外科医2名で地域医療を中心に急性期から回復期、慢性期まで地域に根差した医療機関です。外傷以外にも人工膝関節手術、関節リウマチ、骨粗鬆症リエゾンサービスなどにも力を入れております。

5. 専門研修施設概要・施設紹介 随時Instagramで紹介しています

Ⅱ群：地域中核病院

公立南砺中央病院

開設15年の新しく綺麗な病院です。金沢大学から車で30分と立地も良く、金沢からの通勤も可能です。周囲は山に囲まれており、ウィンタースポーツ好きにもお勧めです。

手術は外傷だけにとどまらず、肩関節、股関節、膝関節、足関節、脊椎の変性疾患も積極的に行っています。早期から超音波（エコー）も導入しています。当直は週に1回程度で、ほとんどが整形外科の患者です。スタッフもみんな優しく、仕事がしやすい環境の整った病院です。

JCHO福井勝山総合病院



当院は、勝山市と大野市を含めた奥越医療圏（6万5000人）唯一の公的病院で、病床数は199床、うち41床を回復期リハビリ病棟としています。整形外科は常勤2名で平均40名ほどの入院患者を抱え、毎日午前外来、午後手術で頑張っています。

手術は年間250～300件ほどで、外傷を中心に、人工関節・脊椎・手の外科など幅広く行っています。

コメディカルは医師に協力的であり、他科との連携も良好であるため、非常に働きやすい環境です。また、研修医であっても常勤医扱いとなり、給与面で手厚い保証が得られ、また即戦力として診療・手術に参加していただくため、整形外科臨床医としてかなりの経験を積むことが可能です。

美味しいおろしそば・恐竜博物館・スキージャム勝山・平泉寺など名物・名所の豊富な勝山で研修しませんか？

上越総合病院

新潟県上越地区（人口約20万人）の中核病院です。外傷、脊椎疾患、関節疾患など豊富な症例があり、多くの手術経験が可能です。他科との連携が緊密で働きやすい環境です。金沢から新幹線で1時間とアクセスがよく、給与や住居など待遇面も充実しています。

5. 専門研修施設概要・施設紹介 随時Instagramで紹介しています

Ⅲ群：小児整形研修病院

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター



当院は、202床の県立の社会福祉法人が運営する施設です。リハビリ病棟は100床の回復期リハビリを行っています。脳卒中や頸部骨折、外傷、脊髄損傷等に対し365リハを7単位以上実施しています。また、一般病棟50床は神経難病、整形外科疾患や外傷（年間260件の手術）

を取り扱っています。52床は小児の四肢障害（小児整形外科の手術30件）、重症心身障害児や児童精神分野の子供たちが利用しています。障害をキーワードに幼児から高齢者までライフスタイルに応じて幅広く治療を行っていることから一度は経験すべき、貴重な施設と自負しています。

福井県こども療育センター

福井県こども療育センターは福井県立病院に併設する心身障害児のための総合療育機関であり、整形外科医は2名在籍しています。脳性麻痺をはじめ、脊柱側弯症や内反足、先天性股関節脱臼などの小児整形外科疾患の診断・治療を行っており、手術治療が必要な場合には福井県立病院で手術を行っています。

6.先輩たちの感想・メッセージ

東京都出身
金沢大学卒業

6年生の5月に入局宣言

初期研修医：

金沢大学附属病院

(地域医療連携実践プログラム:1年目大学病院、2年目浅ノ川総合病院)

専門研修プログラム：

石川県済生会金沢病院 (2年間)

市立砺波総合病院 (1年間、内7ヶ月産休育休)

石川県済生会金沢病院 (6ヶ月)

金沢大学附属病院 (大学院)

「一人暮らしをしたい」という理由だけで出身の東京から金沢大学に進学した私にとって、即決に近い形で決めてしまった金沢大学整形外科への入局は正しかったのか、そもそも本当に女医として整形外科で働けるのか、と多方面に不安な気持ちを抱えつつ専門研修プログラムがスタートしたことを覚えています。今となっては全て杞憂だったなと当時を懐かしく思います。妊娠出産の関係で勤務した市中病院は少なく、どちらも三次救急ではありませんでしたが、一般整形外科医として不足のない経験を積ませていただけたと感じています。妊娠中の勤務地、業務内容は希望を聞き入れていただき、私の場合は妊娠中は手術に入らず救急を含めた外来と病棟のみとしました。また、研修の休止期間が7ヶ月となったため専門医試験の受験は一年遅らせましたが、手術件数や取得単位は早い段階で問題なくクリアできていました。みなさんが入局を決める参考になると嬉しいです。

6.先輩たちの感想・メッセージ

愛知県出身
金沢大学卒業

6年生の5月に入局宣言

初期研修医：

金沢大学附属病院 2年時に大学の整形外科で研修（11か月）

専門研修プログラム：

市立砺波総合病院（1年間）

日本赤十字社医療センター（1年間）

珠洲市総合病院（1年間）

金沢大学病院（大学院）

金沢大学で初期研修を受けてから、専門研修プログラムとして3病院で各1年間ずつ研修してから大学の脊椎班に配属となりました。

専門研修プログラムとして1年目の砺波総合病院では一般外傷・変性疾患についてバランスよく経験でき、2年目の日赤医療センターでは脊椎手術や三次救急としての重症外傷を多く経験でき、3年目の珠洲市総合病院では外来での骨粗鬆症治療をメインとした地域医療としての整形外科医の役割について学ぶことができました。

金沢大学は関連病院が多く、地方の病院から三次救急の病院までローテーションすることで幅広く症例を経験できることが魅力の一つであると思います。各病院では指導体制が充実しており、外来、救急対応などで困った場合には指導医に相談しやすい環境でした。専門研修プログラムでは自信をもって執刀できる症例も少しずつ増えていき、日々充実した研修を終えることができました。また初期研修や専門研修で大学病院をローテーションした際には専門医取得に必要な学会発表、論文についても指導を受けることができ、アカデミックな指導体制も充実しており専門医取得へ準備万端で臨むことができるプログラムであると思います。

6.先輩たちの感想・メッセージ

富山県出身
金沢大学卒業

5年生の2月に入局宣言

初期研修医：

厚生連高岡病院（基幹型） 整形外科ローテーション計9カ月

専門研修プログラム：

金沢大学病院（6カ月）

富山県立中央病院（1年間）

済生会高岡病院（1年間）

射水市民病院（1年間）

金沢大学病院（大学院）

元々整形外科には興味があり、BSL実習の際に医局の雰囲気や先生方の働きぶりをみて、この人たちと一緒に仕事をしたい！と思い学生時代に入局宣言をしました。富山県から奨学金をもらっていたため、専門プログラムは富山県内の病院を回ることができるように医局に配慮していただきました。専門研修プログラム中は、外来・手術・救急対応などの業務を一生懸命しているうちに少しずつできることが増え、ある程度の自信を持てるようになりました。どの病院も指導体制が充実しており、手術や外来のスキルだけでなく学会発表や論文作成等の指導も受けることができました。専門研修プログラム中で、全国学会で4回発表、日本語論文1本・英語論文2本を執筆でき、当時の指導医の先生方には感謝しかありません。金沢大学整形外科専門研修プログラムでは、このように充実した指導体制の下で様々な経験・知識・財産を得ることができるので、金沢大学整形外科を信じて飛び込みましょう。最後に、余裕があれば今のうちにブラインドタッチと英会話の勉強をおすすめします。

6.先輩たちの感想・メッセージ

石川県出身
金沢医科大学卒業

研修医2年目の夏頃に入局宣言

初期研修：
公立松任石川中央病院
金沢医科大学病院 整形外科ローテーションは3, 4か月程度

専門研修プログラム：
金沢大学附属病院（6か月）
金沢医療センター（1年間）
加賀市医療センター（1年間）
金沢大学付属病院（大学院、途中産休・育休で1年間休み）

学生時代から外科系に興味があり、初期研修医の間に、外科、整形外科、形成外科、麻酔科などローテーションし、一番じっくり来たのが整形外科でした。入局にあたり、金沢大学を選択した一番の理由は、関連病院が多いことです。女性は出産すると著しくキャリア形成が制限されます。そのため、少しでも経験を積むのに有利な環境、すなわち関連病院や指導医が多い環境にいた方がよいと考えました。実際、専門医に必要な症例数や学会発表、論文は最初の1年間でほぼ網羅出来ていました。そのお陰で、専門研修中に妊娠・出産を経験しましたが、専門医の取得に不安を感じることはありませんでした。私は育休をとったので、専門医試験は1年遅らせることになり、臨床・研究・育児をしながらの試験勉強は大変でしたが、幸い合格できました。出産後の働き方は千差万別です。金大整形は、女性医師の数はまだ少ないですが、その分それぞれの状況や希望などを考慮してくれます。外科系に興味のある女子学生、研修医の先生は一度見学に来てはいかがでしょうか。

6.先輩たちの感想・メッセージ

千葉県出身
金沢大学卒業

6年生5月に入局宣言

初期研修医：
加賀市医療センター、金沢大学附属病院（たすき掛け）

専門研修プログラム：
輪島病院（1年間）
厚生連高岡病院（1年間）
恵寿総合病院（1年間）
金沢大学附属病院（大学院）

家族が人工関節置換術を受けていたこともあり、元々整形外科には興味がありました。臨床講義実習でさらにその興味が深まり、いざBSL実習ではバリバリと手術されている姿や明るく元気な教室自体の雰囲気を見て金大整形外科に行くことを決めました。いざ医局に入ってみると、関連病院の多さやローテート先の同門の先生方の指導能力の高さ・熱量など金大整形の魅力は多岐にわたり、自分の選択が間違っていなかったことを感じました。

これを読んでいらっしゃる学生さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

6.先輩たちの感想・メッセージ

金沢市出身
富山大学卒業

初期研修医2年目の7月に入局宣言

初期研修医：
石川県立中央病院（基幹型） 整形外科ローテーション計4カ月

専門研修プログラム：
金沢大学病院（6カ月）
金沢医療センター（1年間）
済生会富山病院（1年間）
石川県立中央病院（1年間）

私は、学生時代から整形外科医を志しておりましたが入局先として金沢大学か出身大学かで相当悩みました。悩んだ点は、良くも悪くも金沢大学は関連病院が多いことや、他大学出身者は何となく邪険に扱われるのではないかという漠然とした不安があったことでした。しかし、悩んだ末に金沢大学に入局することを決め、今ではこの決断をして本当に良かったと感じています。

入局後、専門研修プログラムを通じて、多岐にわたる病院で様々な経験を積むことができました。これは関連病院が多いからこそそのメリットだと思います。また、各病院での外来や手術、救急対応を行う中で、徐々にスキルが身につき、日々の成長を実感することができました。先輩方はとても親切で、熱心にご指導いただき、今日まで学会発表や論文執筆の機会を沢山いただいております。入局後は他大学出身ということ意識したことはないかもしれません。

皆さんが整形外科の道を志し、このプログラムでの研修を通じて、多くのことを学び、素晴らしい医師として成長していくことを心から応援しています。

6.先輩たちの感想・メッセージ

福井県出身

福井大学卒業

研修医2年目の夏頃に入局宣言

初期研修医：

福井県済生会病院（基幹型プログラム）整形外科ローテーション約6か月

専門研修プログラム：

金沢大学附属病院（6か月）

市立敦賀病院（1年間）

国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院（1年間）

もともと、「手術がしたい！」と、外科系医師になりたい漠然とした思いを持っていましたが、研修医2年目になるまで専門研修を決められずにいました。4月から迷っていた耳鼻科、外科、整形外科をローテートし、術式の豊富さや専門性の高さ、なんとといっても患者さんがよくなって退院していく姿をみて、整形外科を選びました。初期研修病院は金沢大学の医局であったため、大学病院に見学に行き、医局の雰囲気や個性の強い先生方をみて憧れを抱き、入局を決めました。

数ある金沢大学整形外科の魅力の中でも、この2年半で特に強く感じるのは、指導体制が充実していることです。入局前の自分は、いわゆる“外様”でも無視されずに教えていただけるのだろうか、と悩んでいましたが、現時点で同じ悩みを持っている学生さんや研修医の先生には自信をもって、「出身大学は関係ない」とお伝えできます。上級医の先生は別け隔てなく、やる気のある人にはそれ以上の熱量で指導してくださいます。外来での症例相談や手術指導はもちろん、臨床だけでなく、学会発表や論文作成にも精通されており、海外学会での発表や英語論文の作成チャンスなども豊富にあります。私自身、全国学会や論文作成に関して手厚い指導をいただき日々、感謝しています。

金沢大学整形外科ではこのように充実した指導のもと、整形外科医として確実にレベルアップできる環境が整っています。海外へ留学されている先生も多くいらっしゃるし、自分次第でいろんな道が開かれている医局だと、私は信じています。拙い文章ですが、一緒に働いてみたいな、見学だけでもしてみたいな、と少しでもいただければ嬉しいです。

7. 募集人数と応募方法 病院見学の申し込みについて

専攻医受入数と募集方法

【専攻医受入数】 各年次 10名程度

【応募期間】 9月～11月頃

応募に必要な以下の書類を郵送またはメールで下記に送って下さい。選考は面接で行います。

金沢大学整形外科専門研修および病院見学ガイダンス特設ページ

<http://ortho.w3.kanazawa-u.ac.jp/trnng/pages/kouki.php>

1 履歴書

2 医師免許証(コピー)

【問い合わせ先】

〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1

金沢大学整形外科

担当: 松原秀憲

Tel: 076-265-2374

Fax: 076-234-4261

Email: seikei@med.kanazawa-u.ac.jp